

福島県少年自然の家

第1節 概要

「よく遊びかつよく学ぶ」の教育理念のもとに設立された少年自然の家は、集団宿泊生活を通して、体験的な学習と自然に親しむ活動によって、豊かな心情と体力を養い、心身ともにたくましい少年を育てることを目的としている。また、少年自然の家は家庭教育、学校教育、社会教育それぞれのもつ機能を統合した教育施設であり、したがって

- みんなと協力し、助け合い、励まし合う人間（社会性と連帯性を養う）
 - 自然を愛し、豊かな心を持つ人間（情操と創造性を養う）
 - 体力を高め、健康を増進して、働くことに喜びを持つ人間（健康な心身と実践力を養う）
- の育成を教育目標に掲げ、その達成に努めている。

1 運営委員会

少年自然の家の運営について、所長の諮問機関である運営委員会の開催状況は、次のとおりである。

- (1) 第一回運営委員会（昭和53年7月19日開催）
 - ・本年度利用申込み状況
 - ・事業実績報告
 - ・学校給食米適用状況
 - ・食費の改定
 - ・施設整備計画
 - (2) 第二回運営委員会（昭和53年11月29日開催）
 - ・昭和54年度予算要求概要
 - ・新しい研修活動紹介
 - ・福島県少年自然の家の今後のあり方
 - (3) 第三回運営委員会（昭和54年3月22日開催）
 - ・昭和54年度利用申込み状況
 - ・新しい研修活動について
 - ・昭和54年度運営方針及び重点事項
- なお、運営委員会の委員は次のとおりである。

氏名	役職名
石塚 篤	福島県中学校校長会理事 (郡山市立郡山第五中学校長)
石川 義一	福島県PTA連合会長 (郡山市立郡山第一中学校PTA会長)
今井 清吉	福島県市町村教育委員会連絡協議会長
◎大田 緑子	福島県青少年教育振興会長 (太田綜合病院副理事長)
菅野 健	福島県小学校長会副会長 (郡山市立金透小学校長)
○佐久間 俊隆	郡山市教育委員会教育長
長谷川 慶信	福島県公民館連絡協議会副会長 (石川町中央公民館長)
須藤 春一	東北歯科大学教授
野木 忠房	福島県議会総務公安委員
森 永 薫	福島県子ども会連合会顧問

◎印議長 ○印副議長

2 昭和53年度重点目標と成果

(1) 研修活動の充実

利用団体との連携強化により入所目的の達成を援助するとともに、研修の開発やプログラムのくふう及び指導資料の整備充実によって研修効果の向上をはかることができた。また、当所の当面する課題の解明を研究協力校に依頼し、その研究成果の効果的な活用を図った。

(2) 施設設備の充実と保全並びに事故防止

待望の乾燥室が完成したため、雨天時の野外活動を積極的に奨励し、悪条件にもめげず目的を成就する強い意志の養成を図ることができた。また、つどいの広場の夜間照明の設置により、冬季間のつどいや夜間及び雨天直後の研修活動に利用されている。

(3) 広報活動の強化と利用の促進

所報の計画的な発行（年4回）や種々の広報活動及び参観の奨励によって、利用の広域化と促進をはかり社会教育施設としての認識を深めることができた。

(4) 主催事業の効果的な運営

「親子のつどい」を年3回開催し、親子や地域の小グループで入所して、親子の心のふれあいや他家族との交流を図ることができた。

当所の利用団体及び今後利用希望の団体指導者を対象に、利用連絡協議会を開催し、また、レクリエーションの実技指導の向上をはかるため、青少年教育実技指導者研修会を「基礎」と「応用」の二講座に分けて実施した。

3 職員組織

職名	所長	次長	主事	社会教育主事	指導主事	用務員兼運転手
人員	1	1	2	1	4	1

第2節 施設・設備の概況

(1) 位置

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山54

(2) 敷地面積

約 330,000㎡

(3) 建物

① 本館

鉄筋コンクリート2階一部平屋建
延べ面積 1,578.67㎡（昭和47年3月31日完成）

「旧食堂・旧厨房」を、それぞれ「なかよしホール79.0㎡・会議室50㎡」に改造（昭和53年2月15日完成）

② 体育館

鉄骨造平屋建 面積 588㎡（昭和47年9月25日完成）